

2 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

■学修領域（教育分野）

- ①経営
- ②地域

■カリキュラム編成の基本方針

本学科では、環境に関わる諸問題につき、主として社会科学の視点に立って理解し、その解決策を企画・立案できる総合的な能力を身に付け、企業や地域において行動できる実践型人材を養成する。そのために、経営と地域に焦点を当てたコースを設置し、初年次から動機付け教育を行う。さらに、各コースに共通する基礎的・基幹的知識を早期に習得した上で、それぞれのコースで目指す実践型人材養成に適したカリキュラムを履修し、問題解決能力の向上を図る。さらに、ゼミナールやフィールドワーク等の体験を通じて、それまでの学修により得られた知識を実践できる機会を提供する。

■年次別科目の配当方針

1年次には、環境に関わる諸問題に対して地球的な観点から多面的に物事を考え、環境調和型社会の実現に貢献することの必要性の理解と、社会科学の基礎を身に付ける。

2年次では、基幹科目を中心に環境に関わる諸問題を解決するための専門知識を修得し、専門ゼミを通じて学生のキャリア形成、様々な課題に柔軟に対応できる能力、および自主的継続的に学習する能力を身に付ける。

3年次では、展開科目を中心に専門分野や複合的な視点から環境問題を考察する力を身に付ける。また、専門ゼミでのグループワークを通じて環境に関わる諸問題の解決に取り組むために必要な計画する能力、まとめる能力を身に付ける。

4年次の専門ゼミでは、地域社会および地球的な視点から環境に関わる諸問題に対応するためのプレゼンテーション能力や問題解決能力を身に付ける。

■学修成果の評価の在り方

各授業科目の学修内容、修得する知識・能力、到達目標、成績評価の方法・基準をシラバス等により学生に周知し、それに則した厳格な成績評価を行う。

1年次、2年次および3年次終了時には修得した単位数とGPAに従い進級判定を行い、4年次終了時には、修得した単位数から学修到達度について総合的に評価する。